

令和8年度

土地改良事業計画書

( 農 業 用 た め 池 整 備 )

都道府県名：福 岡 県

地 区 名：芋ヶ谷<sup>いもがたに</sup>

所 在 地：筑紫野市大字天山

事業主体：福 岡 県

# 目 次

<p><b>第1章 目 的</b> ..... 1</p> <p><b>第2章 地 域 及 び 地 積</b> ..... 1</p> <p>  第1節 地 域 ..... 1</p> <p>  第2節 地 積 ..... 2</p> <p><b>第3章 現 況</b> ..... 3</p> <p>  第1節 気 象 及 び 海 象 ..... 3</p> <p>    1 一 般 気 象 ..... 3</p> <p>    2 特 殊 気 象 ..... 3</p> <p>    3 海 象 ..... 4</p> <p>  第2節 土 地 状 況 ..... 4</p> <p>    1 地形、土壌及び侵食の程度 ..... 4</p> <p>    2 土 地 分 類 ..... 6</p> <p>    3 土 地 利 用 の 状 況 ..... 7</p> <p>    4 土 地 所 有 の 状 況 ..... 8</p> <p>  第3節 水 利 状 況 ..... 9</p> <p>    1 用 水 状 況 ..... 9</p> <p>    2 排 水 状 況 ..... 13</p> <p>    3 河 川 状 況 ..... 16</p> <p>  第4節 道 路 現 況 ..... 17</p> <p>    1 道 路 概 況 ..... 17</p> <p>    2 主 要 道 路 一 覧 表 ..... 17</p> <p>  第5節 地 域 農 業 の 概 況 ..... 18</p> <p>    1 産 業 別 就 業 人 口 ..... 18</p> <p>    2 経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 耕 地 の 分 散 状 況 並 び に 専 兼 業 別 農 家 数 ..... 19</p> <p>    3 動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数 ..... 19</p> <p>    4 主 要 作 物 作 付 状 況 ..... 20</p> <p>    5 農 業 の 動 向 ..... 21</p>	<p>  第6節 地 域 環 境 の 概 況 ..... 22</p> <p><b>第4章 一 般 計 画</b> ..... 23</p> <p>  第1節 事 業 計 画 の 要 旨 ..... 23</p> <p>    1 要 旨 ..... 23</p> <p>    2 事 業 別 面 積 ..... 23</p> <p>  第2節 営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画 ..... 24</p> <p>    1 営 農 計 画 の 概 要 ..... 24</p> <p>    2 土 地 利 用 区 分 式 ..... 24</p> <p>    3 作 付 方 式 ..... 25</p> <p>    4 生 産 計 画 ..... 26</p> <p>    5 労 働 改 善 計 画 ..... 27</p> <p>    6 級 地 別 土 地 利 用 区 分 ..... 28</p> <p>    7 土 地 配 分 計 画 ..... 29</p> <p>  第3節 用 水 計 画 ..... 29</p> <p>    1 計 画 基 準 年 ..... 29</p> <p>    2 計 画 かん が い 方 式 ..... 29</p> <p>    3 計 画 用 水 系 統 ..... 29</p> <p>    4 計 画 用 水 量 ..... 30</p> <p>    5 水 源 計 画 ..... 32</p> <p>  第4節 排 水 計 画 ..... 37</p> <p>    1 計 画 基 準 雨 量 ..... 37</p> <p>    2 計 画 排 水 方 式 ..... 37</p> <p>    3 計 画 排 水 系 統 ..... 37</p> <p>    4 計 画 排 水 量 ..... 38</p> <p>    5 排 水 対 策 ..... 39</p> <p>    6 湛 水 検 討 ..... 41</p> <p>  第5節 道 路 計 画 ..... 42</p> <p>    1 道 路 及 び 索 道 ..... 42</p> <p>    2 路 線 配 置 図 ..... 43</p>
---	---

第6節	農用地造成計画	44	第3節	道路及び索道	57
1	農用地造成計画	44	1	道路	57
2	土壌改良	44	2	索道	58
第7節	洪水調節計画	45	第4節	農用地造成	59
1	計画基準雨量	45	1	農用地造成	59
2	計画洪水量及び調節量	45	2	土壌改良	60
3	貯水池	45	第5節	洪水調節施設	61
4	洪水調節検討	46	1	貯水池	61
5	管理計画	46	2	頭首工及び導水施設	61
第8節	干拓計画	47	第6節	干拓施設	62
第9節	農用地整備計画	48	1	堤防	62
1	区画整理	48	2	潮止め	62
2	暗渠排水	50	3	付属施設	62
3	客土	51	4	埋立	62
4	農地保全	51	第7節	農用地整備施設	63
第10節	老朽ため池改修計画	52	1	区画整理	63
1	洪水吐改修計画	52	2	暗渠排水	64
2	堤体補強計画	52	3	客土	65
3	取水施設改修計画	52	4	除礫	65
第5章	主要工事計画	53	5	農地保全	66
第1節	用水施設	53	第8節	老朽ため池改修施設	67
1	貯水池	53	1	貯水池	67
2	頭首工	53	2	堤体補強施設	67
3	揚水機	54	第6章	附帯工事計画	68
4	貯水池	54	第7章	工事の着手及び完了の予定期間	68
5	その他かんがい施設	54	第8章	環境との調和への配慮	69
第2節	排水施設	55			
1	排水水門	55			
2	排水機	55			
3	排水路	56			
4	その他排水施設	56			

<b>第9章</b>	<b>換地計画の概要</b>	70
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	70
第2節	換地区の設定	70
1	換地区の名称、所在、面積	70
2	換地区を設定する理由	70
第3節	換地計画樹立の基本方針	70
1	従前の土地の面積の基準	70
2	用途別予定地積	71
3	農用地集団化の方針	72
4	非農用地の換地方法	72
第4節	土地の評価及び清算の方法	73
1	評価の方法	73
2	清算の方法	73
第5節	換地計画樹立の年度計画	73
第6節	換地処分の特則に関する特則	73
<b>第10章</b>	<b>事業費の総額及び内訳</b>	74
<b>第11章</b>	<b>効用</b>	74
<b>第12章</b>	<b>関連する事業</b>	75
<b>第13章</b>	<b>現況・計画図面</b>	75
1	現況平面図	75
2	計画平面図及び土地利用計画図	75
3	主要構造物	75

## 第1章 目的

- (1) 必要性 本地区の芋ヶ谷池は、その築造年は不明であるが、古くからかんがい用のため池として利用されている。1980年頃に現在の構造に改修されているが、40年以上が経過し各所に劣化が見受けられる。現況堤体については、法面保護工（張ブロック）が設置されているが、堤体から基準値を超える漏水が確認されている。取水施設については、老朽化により斜樋コンクリートひび割れ、底樋管が破損しており現在はポンプを使って取水している。土砂吐ゲートは操作不能状態である。また、緊急放流施設を備えておらず安全性に欠ける。洪水吐については、計画洪水量に対して現況施設の排水能力が不足しており、近年の集中的な豪雨を考慮すると危険な状態である。
- (2) 緊急性 ため池施設の老朽化に伴う漏水、取水施設の不具合、緊急放流施設の不備、および、洪水吐の流下能力不足等に起因し大雨時の構造安定性が担保できないのが現状である。そのため、堤体が決壊するという事態となれば、ため池下流の農業用施設や集落に甚大な被害が予想されるため、早急に本事業による安定を図る必要がある。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

事業名	地域
農業用ため池整備事業	福岡県筑紫野市大字天山

第2節 地 積

(R7年11月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農業用ため池整備事業	筑紫野市	2.0	—	—	—	—	2.0	
	計	2.0	—	—	—	—	2.0	
合 計		2.0	—	—	—	—	2.0	

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福岡管区气象台	かんがい期	4月～9月	非かんがい期	10月～3月	計 又は平均	備 考
観測期間	1991～2020						
平均気温 (°C)		23.2	11.4	17.3			
降水量	平均 (mm)	1,185.7	501.3	1,687.0			
	基準年 (mm)	-	-	-			
降水日数	平均 (日)	68	61	129			
	基準年 (日)	-	-	-			
根雪期間		月 日	～	月 日	日間		
無霜期間		月 日	～	月 日	日間		
最多風向		北	最大風速 (風向)	32.5 m/s	最多風向発生時期 3月～10月 最大風速発生年月日 昭和26年10月14日		

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
福岡管区气象台															
観測期間	1890～2024														
最大日雨量 (mm)	307.8	1953/6/25	-	269.6	1941/6/26	-	257.6	1905/7/26	-	236.0	2018/7/6	-	233.0	1983/7/16	-
最大時間雨量 (mm)	96.5	1997/7/28	-	79.5	1999/6/26	-	73.2	1957/8/3	-	72.5	2013/8/30	-	71.5	2009/7/24	-
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大連続雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大連続干天日数 (日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名		既往最高 潮 位 (m)	さく望平均 満 潮 位 (m)	上下弦平均 満 潮 位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均 干 潮 位 (m)	さく望平均 干 潮 位 (m)	既往最低 潮 位 (m)	備 考
観測期間	年～ 年								

第2節 土 地 状 況

1. 地形, 土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田					畑・その他							受益地標高 (m)		備 考		
	傾斜	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 0°	0°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計		最 高	最 低
	以下	以下	1/100	1/20	1/11.5	以上			0°～ 10°	10°～ 15°	0°～ 15°							
農業 用 た め 池 整 備 事 業	面積 (ha)			2			2.0								0.0	42.0	33.0	
	比率 (%)			100.0			100								0.0			
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合 計	面積 (ha)			2.0			2.0								0.0			
	比率 (%)			100.0			100								0			

(第4表-1-2)

土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考	
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名			計
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層			農 業 用 た め 池 整 備 事 業			
					表 土	下 層 土								
				一 層	二 層	三 層								
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0		2.0	
計													2.0	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ浸食の程度		備 考
		0	0～ 25%	25～ 50%	50% 以上	0	3mm 未満	3～ 5mm	5mm 以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

## 2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
		一級地	二 級 地				三 級 地			四 級 地			
			※ (ha)	3°～ 0° (ha)	0°～ 12° (ha)	12°～ 15° (ha)	※ (ha)	15～ 20° (ha)	20°～ 25° (ha)	25°～ 30° (ha)	※ (ha)		
													※ は傾斜以外の要因によるもの
	計												

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
	計						

3. 土地利用の状況

(R7年11月現在)

(第4表-3)

事業名	市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭材 (ha)					
農業用ため池整備事業	筑紫野市	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	
	計	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	
	計													
	計													
	合計	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	

4. 土地所有の状況

(R7年11月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	国有	県有	町有	計	備考
	農業用ため池整備事業	面積 (ha)	2.0				2.0
受益者数 (人)		6				6	
筆数 (筆)							
権利関係							
備考 (関係戸数)		(6)				(6)	
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						
合計	面積 (ha)	2.0				2.0	
	受益者数 (人)	6				6	
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)	(6)				(6)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

芋ヶ谷池 → 受益地 A = 2.0ha q = 0.066m<sup>3</sup>/s  
 (別紙現況用水系統模式図参照P. 9-1)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

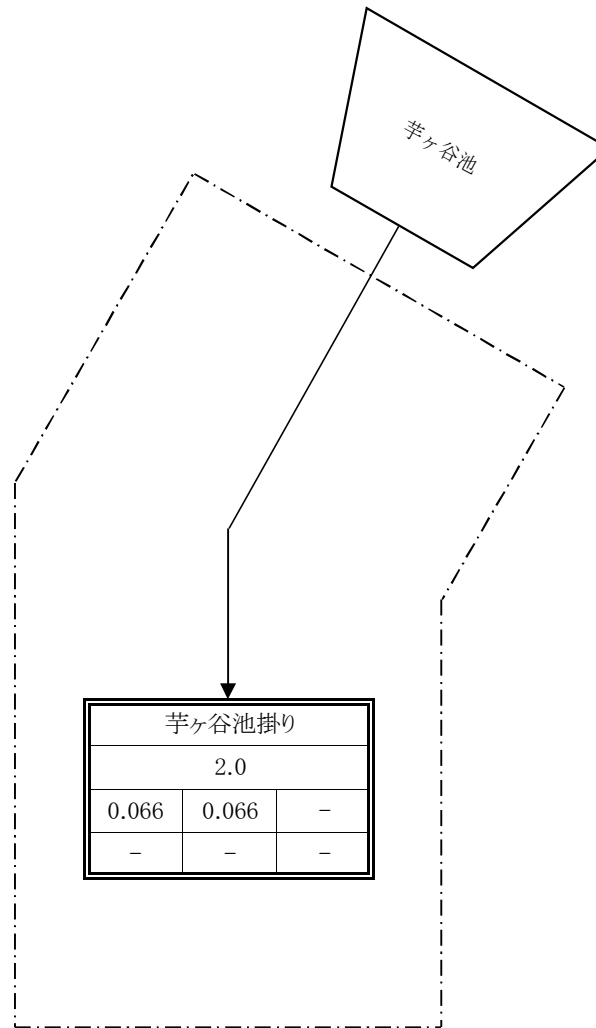
事業名	項目	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha以下									
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s	
農業用ため池整備事業	貯水池					1	2.0	1	2.0			1	0.066		
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	2.0	1	2.0			1	0.066		
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計							1	2.0			1	0.066			

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農業用ため池整備事業	貯水池	1	2.0	均一型	45,000m <sup>3</sup>	不明	堤体からの漏水や底樋が破損しているため	
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計	1	2.0					
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		1	2.0					

現況用水系統図



凡 例					
記 号	名 称				
————	既 設 水 路				
○—○	頭 首 工				
▽	貯 水 池				
<table border="1"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 外
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
<table border="1"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 内
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
(イ)	路 線 名				
(ロ)	灌 漑 面 積				
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量				
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量				
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量				
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量				
(ト)	不 足 水 量				

(3) 用水に関する被害状況

(7) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量	
	平均 (m <sup>3</sup> /s)			基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )				
	計									
	合計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

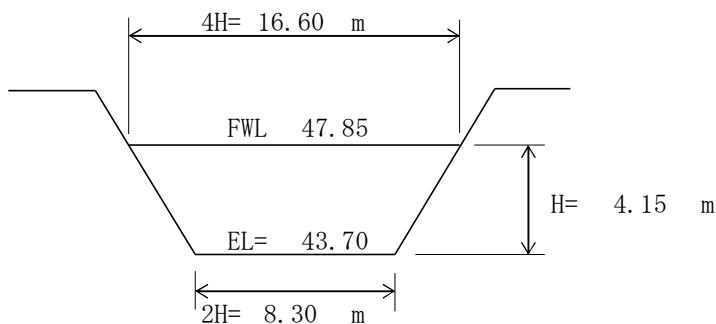
## (4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)						人命 (人)	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
農業用ため池整備事業	13.8	—	10.6	24.4	8,694	126,898	349,913	37,030	213,368	735,903	—	
計	13.8	0.0	10.6	24.4	8,694	126,898	349,913	37,030	213,368	735,903	—	

## (5) 原因究明

本ため池が決壊すれば $V=1,410\text{m}^3$ の土石流が氾濫し、下流農地・農業用施設・人家に多大な被害を与えることが十分考えられる。従って、ため池決壊における被害を未然に防止するための改修工事が望まれる。



## ・流出洪水量

$$q = q_1 + q_2$$

$$\text{但し } q_1 = 4.5 \cdot H^{5/2} = 4.5 \times 4.15^{5/2} = 157.9 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$q_2 = 4.99 \text{ (m}^3/\text{S)} \quad \text{洪水吐設計洪水量}$$

$$\text{よって } q = 157.9 + 4.99 \doteq 162.9 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$\text{・総流出量} = \text{ため池総貯水量} = 45,000 \text{ m}^3$$

2. 排水状況  
 (1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設  
 (ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			500ha以上		100~500ha		100ha未満						
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
計													
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
計													
合計													

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	構造	規模	新設 又は 更新	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
合計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量 (t)		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他		作物名	減産量	
	乾	湿	乾	湿					乾	湿							
	平均	基準年	平均	基準年	平均	基準年	平均	基準年	平均	基準年	平均	基準年	平均	基準年			
計	平均																
	基準年																
合計	平均																
	基準年																

### 3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 ( $m^3/s$ )	既往最大洪水量 ( $m^3/s$ )	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

## 第4節 道路現況

### 1. 道路概況

該当なし

### 2. 主要道路一覧表

(第6表)

	路線名	管理 区分別	延長(m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	供給水道業 (人)	電気ガス熱 運輸通信業 (人)	御売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
筑紫野市		51,230	716	22	11	0	4,135	4,384	295	4,895	9,919	1,402	1,292	4,284	2,442	17,433	令和2年 国勢調査
計		51,230	716	22	11	0	4,135	4,384	295	4,895	9,919	1,402	1,292	4,284	2,442	17,433	
比率 (%)		100%	1.40%	0.04%	0.02%	0.00%	8.07%	8.56%	0.58%	9.55%	19.36%	2.74%	2.52%	8.36%	4.77%	34.03%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専兼業別農家数 (戸)		備考		
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり	団地当たり (a)	専業		兼業	
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	ha												以上	第一種
筑紫野市	437	0	102	153	66	30	19	19	17	5	4	22	1.43	0.13	0.02	1.58	0	1.58	-	-	76	68	293	農林業センサス 2020年現在
計	437	0	102	153	66	30	19	19	17	5	4	22	1.43	0.13	0.02	1.58	0.00	1.58			76	68	293	
比率 (%)	100.0%	0.0%	23.3%	35.0%	15.1%	6.9%	4.4%	4.4%	3.9%	1.1%	0.9%	5.0%	91%	8%	1%	100%	0%	100%	-	-	17%	16%	67%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	トラクター		自動耕運機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
筑紫野市	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	243	4	農林業センサス 2020年現在 ※動力農機具は2020年版より廃止  X: 非公表
計	-	-	-	-	-	-	0	2	0	3	243	4	
100戸当たり数量 (台, 頭)	-		-		-		0		0		6,075		
利用戸数割合 (%)	-		-		-		22.2%		33.3%		44.5%		

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		筑紫野市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積 (ha)		860						860			
総本地面積 (ha)		751						751			
作付名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
	田・畑	表作	水 稲	419	468				419	468	65.3
大 豆			62	160				62	160	9.7	
小 麦			161	409				161	409	25.0	
裏作											
樹園地											
計		642						642		100.0	
市町村別延べ作付率(%)		74.7						74.7			

第71次福岡県農林水産統計年報による

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作 物 名	B	A (現在)	家 畜 名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の 状 況 (C年を 100と する 指数)	総農家数	83	70	耕地	95	87	水稻	94	82	乳用牛	92	0	トラク ター	87	-		
	専業農家数	95	99	田	96	84	麦類	115	104	肉用牛	0	0	耕運機	86	-		
	第一種 兼業農家数	79	42	畑	81	131	豆類	121	188	採卵鶏	85	89	コンバイン	87	-		
	第二種 兼業農家数	83	77	果樹園	40	140											
	農業 従事者数	86	80	草地	-	-											
変化の 理 由	農産物価格の低迷、高齢化、担い手不足により、農家戸数の減少が進み農業従事者も減少してきている。			ほ場整備が進んできてはいるが、大型商業施設の進出、核家族化に伴う住宅用地等への変更の為、農用地の減少がある。			水稻の作付け面積は、減少傾向にあるが、麦や大豆等の作付面積に大きな変動はみられない。			家畜飼育頭数は非公表となっているが、採卵鶏は増加に転じている。			-			農林業 センサス 2020 2015 2010  A： 20年度 B： 15年度 C： 10年度	

## 第6節 地域環境の概況

### 1. 植物、動物等生態系の概要

筑紫野市では福岡都市圏のベッドタウンとして住宅都市化が進んでおり、山林や農地等の自然性高い土地が開発により減少傾向にある。

鳥類ではアオバズク等、両生類ではアカハライモリやニホンアカガエル等、昆虫類ではアカシジミやキイトトンボ等、魚類ではヤマトシマドジョウ、植物ではエヒメアヤメやカラタチバナ等の希少生物も確認されているが、一部地域においては産業廃棄物処理場や不法投棄による自然環境への影響が懸念されている。

さらに近年、特定外来生物の目撃情報があり、農作物被害のほか、生態系への影響が懸念されている。実際にアライグマによるニホンイシガメへの食害が確認されており、生息状況の把握と計画的な防除が求められている。

### 2. その他の地域環境の概要

#### ①自然環境

##### (1)地形・地質

筑紫野市は九州最大の都市である福岡市から南に約15km、福岡県の中部に位置し、年平均気温は15℃で概ね穏やかで比較的温暖な気候に恵まれている。また、宝満山麓及び脊振山麓の両山麓が迫っていることから近隣市町の中でも雨の日が多い地域でもある。

地質的特徴としては花崗岩の広い分布が目立っており、市域東部には花崗岩より古い結晶片岩類が存在し、それらの作る土台の上に第四期層がのっている。土壌は礫質灰色低地土灰色系の砂壤土が主体であり、一部には砂土及び黒ボク土壌がみられる。

##### (2)植生・植物

植生については、九州北部に位置する筑紫野市では暖地性植物に加え、大陸系、北方系植物の種類も多く、また古代は海浜環境の影響を受けていたと推察され、海浜性植物が出現する低山地もある。しかし現在の植生の大部分は、人為的な影響を受けてスギ、ヒノキ林や広葉樹の二次林、竹林、そのほか土地利用にともなう代償植生となっている。

#### ②生活環境

筑紫野市は福岡市から南に15km、福岡県の中部に位置し、福岡市を中心とする日常生活圏の一部を構成している。福岡市と近接する地理的優位性により、市内各地において大規模な開発や区画整理事業による宅地造成によって、良質な住宅環境を有する都市として発展してきた。

加えてJR鹿児島本線、西鉄天神大牟田線、九州自動車道、国道3号、主要地方道や一般県道が通っており、広域的な交通基盤が形成されている。筑紫野インターチェンジ周辺は、物流の拠点としての立地条件を備えており、九州の交通の要衝として高い交通利便性を有している。

また、東に三郡山系、西に脊振山系を有し、宝満山や天拝山など人気登山コースにもなっている豊かな自然が残されており、市内各地で四季折々の自然の景色を見ることができる。

さらには1300年の歴史をもつ「二日市温泉」や九州最古の寺と称される「武蔵寺」、国の特別史跡「基肄城跡」など史跡も多く、温泉資源や歴史資源にも恵まれている。

#### ③生産環境

国内外の農業を取り巻く条件のもと筑紫野市も厳しい状況に置かれており、農業就業者の減少や農用地の減少が見られ、そのほとんどが兼業農家となっている。生産基盤の整備はかなり進んでいるが、中山間地域の小規模の生産基盤整備やため池改修及び集落排水事業が残されている。

第4章 一般計画  
第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨 (芋ヶ谷池)

項 目	事業を必要とする理由	改修・補強工法
取水施設	○取水施設機能低下 斜樋：老朽化によるコンクリートひび割れ 底樋：底樋管破損  ○緊急放流施設の不備	底樋：プレキャスト底樋管φ800 斜樋：塩ビ管VPφ200 取水孔φ100×2孔 緊急放流孔：φ300×1孔
洪水吐	○設計洪水量4.99m <sup>3</sup> /s>現況能力1.72m <sup>3</sup> /s 計画洪水量に対して現況通水断面が不足しており、改修を必要とする。	側水路式 コンクリート三面張 B=4.00m
堤 体	○堤体からの漏水 67.6ℓ/min/100m > 60.0ℓ/min/100m	堤体改修工法 表法面 傾斜遮水ゾーン型 (前刃金工法) 底樋部 改良 法面保護工：波受工(張ブロック) 腰石積工：積ブロック
その他被災歴・改修歴 ・溜池依存の状況等 特記事項	【防災重点農業用ため池】 該当 【重要度区分】 重要度A 【被災歴・改修歴】 改修年度1980年頃 堤体工他一式	

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業用ため池整備事業																		計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
堤体が老朽化し危険であるため緊急に改修する	2.0					2.0													2.0	
計	2.0	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

該当なし

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用ため池整備事業	現況	2.0	-	-	-	-	-	2.0				2.0	
	計画	2.0	-	-	-	-	-	2.0				2.0	
	現況												
	計画												
	現況												
	計画												
計	現況	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	
	計画	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
現況	田(表)																											
	田(裏)																											
計画	田(表)																											
	田(裏)																											

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	土地 利用 区分	項目 作物名	作付面積 (ha)			作付率		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考		
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増加			
水田	表作																	
	裏作																	
	計			-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-		
	普通畑																	
計			-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-			
合計			-	-	-					-	-	-	-	-	-			

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作物名	作物面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考
	土地利用 区分				区分	現況	計画	増減	
	輪 換 耕 地	表							
		作							
		裏							
		作							
		計							
	普 通 畑	表							
		作							
		裏							
		作							
		計							
	合 計								

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分	区分	農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
	級地名	一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7. 土地配分計画

(第9表-6)

区分	項目 配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							備 考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草畑	樹園地			
増 反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入 植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

第3節 用水計画

1. 計画基準年

—

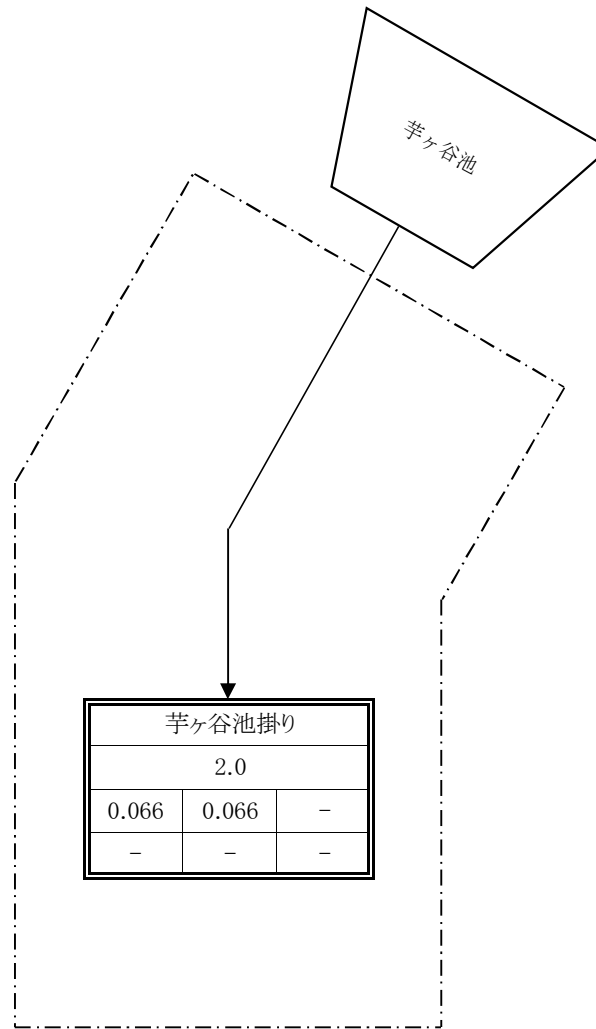
2. 計画かんがい方式

取水ゲートの開閉による自然流下かんがいを行う。

3. 計画用水系統

芋ヶ谷池 → 受益地 受益面積 2.0 ha  
(別紙計画用水模式図参照P. 29-1)

計画用水系統図



凡 例					
記 号	名 称				
————	既 設 水 路				
○——○	頭 首 工				
▽	貯 水 池				
<table border="1" data-bbox="1742 719 1890 810"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 外
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
<table border="1" data-bbox="1742 850 1890 941"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 内
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
(イ)	路 線 名				
(ロ)	灌 漑 面 積				
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量				
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量				
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量				
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量				
(ト)	不 足 水 量				

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統図	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名		普通期	代掻期	面積 (ha)	一日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	単位用水量 計画平均 (mm/日)	面積 (ha)			平均	最大	
		農業用ため池 整備事業		計画 単位用水量 (mm/日)	計画 単位用水量 (mm/日)														
		芋ヶ谷池	2.0	12.0	150.0	2.0								0.066	15				

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用区分	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名		計	単位給水量 (l/s)	最大給水量 (l/s)			
(The entire table body is crossed out with a diagonal line from the top-left to the bottom-right.)									



## (2) 用水対策

## (ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積(km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接	事業名		計					
			農業用ため池整備事業							
芋ヶ谷池	0.1735		2.0	-	2.0	50.0	45.0	-	0.066	

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)		計	取水量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考
			事業名			最大	平均	
計								



(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)		計	最大通水量 ( $m^3/s$ )	延長 (m)	構造	備考
	事業名						

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

#### 第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画排水方式

該当なし

3. 計画排水系統

該当なし

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)		計	流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備考		
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地	山地	平地			山地	平地
														自然排水	機械排水			

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計 画		排 水 本 川			備 考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	名 称	計 画 洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計 画 洪水位 (m)	
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計画排水量		排 水 機			備 考	
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台 数 (台)		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計 画 排 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名		計				名 称	計 画 洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計 画 洪水位 (m)	
計											

(イ) その他

該当なし

6. 湛水検討

	湛水状況			許容湛水深以上		排水系統	備考
	面積	最大湛水深	最大湛水時間	面積	時間		
現況	ha	cm		ha			
計画							

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅 (有効) × 延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
計				

(2) 索 道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備 考

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作目	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H <sub>2</sub> O	KCI			石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 (略)

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水 到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大 流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大 調節量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )			計画調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

#### 4. 洪水調節検討

##### (1) 河川改修計画との関係

該当なし

##### (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

##### (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

#### 5. 管理計画

##### (1) 管理機構

該当なし

##### (2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

##### (3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水位) (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/ s)	気圧 (m b)	備考
<div style="position: absolute; top: 0; left: 0; bottom: 0; right: 0; border: 1px solid black; background: linear-gradient(to bottom right, transparent 49%, black 49%, black 51%, transparent 51%); pointer-events: none;"></div>						

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備 考

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2. 暗渠排水  
 (1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)		計	土 壤 統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{\text{mm}}{\text{s}}/\text{ha}$ )	計画後の 地下水位 (m)	集水渠 出口以下 の排水 方法	備 考
	事業名								
計									

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)		計	土 壤 統(区)名	土 壤 硬 度	備 考
	事業名					
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)		土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10aあたり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名	計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

## (3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

## 第10節 老朽のため池改修計画

## 1. 洪水吐改修計画（芋ヶ谷池）

## (1) 計画基準雨量

計 画 降 雨	観測機関名	福岡管区気象台（1時間 1946年～2022年）
	計画基準雨量	(1) 200年確率雨量（A項流量） $\gamma t = 96.5 \text{ mm/hr}$ $\gamma 10 = 28.3 \text{ mm/10min}$ (2) 既往最大時間雨量 $\gamma t = 96.5 \text{ mm/hr}$ $\gamma 10 = 23.5 \text{ mm/10min}$
	計画根拠	200年確率雨量と既往最大雨量から、洪水流量を比較し、計画基準雨量は200年確率雨量を採用する。

## (2) 計画洪水量

集水 面積	直接	17.4 ha	合計
	間接	ha	17.4 ha
計 画 洪 水 量	計 算 式 流 出 率 計 画 洪 水 量	$Q = 1/3.6 \cdot f \cdot \gamma t \cdot A \cdot 1.2$ 0.77（総合流出） $Q = 1/3.6 \times 0.77 \times 112.1 \times 0.1735 \times 1.2 = 4.99 \text{ m}^3/\text{S}$ 貯留効果は考慮しない	

## 2. 堤体補強計画

- (ア) 堤体改修工 傾斜遮水ゾーン型(前刃金工法) 腰石積工(積ブロック)  
 (イ) 法面保護工 波受工(張ブロック)  
 (ウ) 漏水防止 傾斜遮水ゾーン型(前刃金工法) 及び底樋部は改良

## 3. 取水施設改修計画

取水施設は、斜樋ゲート及び土砂吐ゲート、底樋を改修し、取水孔には緊急放流機能を持たせ、水管理の向上を図る。  
 取水孔はφ100×2孔をスライドゲートとため池栓2孔、斜樋管は塩ビ管φ200、緊急放流孔はφ300×1孔のスライドゲート。

第5章 主要工事計画  
第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	型式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (km <sup>3</sup> )	基礎地盤 地質	貯水量 (km <sup>3</sup> )		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
堤体										
洪水吐	型式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)		取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	

2. 頭首工

(第17表-2)

名称	型式	堤高 (m)	堤長 (m)		位置 計	取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部					
計									

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 ( $m^3/s$ )	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (KW)	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 ( $m^3/s$ )	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

## 第2節 排水施設

### 1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 ( $m^3/s$ )	備考
計							

### 2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 ( $m^3/s$ )	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

4. その他排水施設

該当なし



(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名稱	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

## 2. 索道

(第19表-3)

項目 名稱	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/h r)	原動機		備考
				型式	動力 ( )	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha 当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

(2) 除礫

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha 当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
	地目	造成工法			
	計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

## 2. 土壌改良

(第20表-7)

項目 区分	面積 (h a)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置		堤長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	固定部	可動部	計	計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
(This table is currently empty and crossed out with a diagonal line.)								

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			
(This table is currently empty and crossed out with a diagonal line.)							

第6節 干 拓 施 設

1. 堤 防

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構 造				原地盤標高(m)		備 考
			堤長標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	

2. 潮 止 め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付 属 施 設

該 当 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施 工 方 法	備 考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集 水 渠				排 水 渠						集水渠出口以下 の排水施設			備 考
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
計																

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)		客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名	計					
計							

4. 除 礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 区分	構造	数量	備考
計			

## 第8節 老朽ため池改修施設

### 1. 貯水池

(第24表)

名称	芋ヶ谷池					位置	福岡県筑紫野市大字天山		
	区分	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤体巾 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
堤 体	現況	均一型	0.174	6.35	150.0	16,000	3.2	45.0	
	計画	前刃金型	0.174	6.15	156.8	15,900	3.3	45.0	
洪 水 吐	区分	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水 施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	現況	水路流入式	4.99	B=2.1m	現況能力 1.72 m <sup>3</sup> /S		斜樋	塩ビ管VPφ200 0.009	
	計画	側水路式	4.99	B=4.0m	5.03 m <sup>3</sup> /S		底樋	プレキャストφ800	

### 2. 堤体補強施設

#### (1) のり面保護施設

堤体上流法面は、張りブロックによる波受工を施工する。

#### (2) 漏水防止工

傾斜遮水ゾーン型（前刃金工法）にて改修する。

## 第6章 附帯工事計画

該 当 な し

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

工事の着手及び完了の予定

工 期	着手予定	令和8年度	
	完了予定	令和12年度	5ヵ年

## 第8章 環境との調和への配慮

### 配慮の考え方

- 沈砂池等を設け、泥水の発生を抑えるとともに、土砂等が農業用水路に流出しないように努める。また、工事着手前は、生物を捕獲し近隣の池等に移動させる。(軽減)
- 工事実施前及び工事実施中に希少動植物を発見した場合は、近傍の生息可能域へ移動。(軽減)
- 工事実施時期は、ため池内の滞筋などを活用した生息・生育場所を確保する。その際、可能な限り、水深及び止水環境の確保に努める。(軽減)
- 工事実施後は、可能な限り速やかに、ため池の水位回復に努める。(軽減)

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称・所在・面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

#### 2. 換地区を設定する理由

該当なし

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準





第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備 考

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区 分	事業名	農業用ため池整備事業 (百万円)	備 考
		工事費	
	測量試験費	34.3	
	用地買収補償費	3.5	
	工事雑費	9.2	
	計(事業費)	470.2	
	地方事務費	23.0	
	合計	493.2	
(関連事業 参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年総効果(便益)額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	備 考
	農業用ため池整備事業	維持管理費節減効果	△ 5	
	災害防止効果(農業関係資産)	20,731	—	
	災害防止効果(一般)	9,111	—	
	災害防止効果(公共資産)	1,581	—	
	合計	31,418	8	

<参考>

総便益額：650,975 千円

総費用総便益比：1.83

総所得償還率：-%

## 第12章 関連する事業

### 1. 道路事業との調整

該当なし

### 2. 高付加価値農業の営農に必要な対策

#### (1) 目的

該当なし

#### (2) 事業内容

該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

## 第13章 現況・計画図面

### 1. 現況平面図

別紙図面のとおり

### 2. 計画平面図

別紙図面のとおり

### 3. 主要構造図

別紙図面のとおり

